

講演会

「^か ^ず ^さ ^ぼ 上総掘りと地下水」

地下、数百メートルから、水が自然に湧き出してくる。
細い穴を掘っただけで…。

君津市では当たり前前の地下水の「自噴」ですが、実は全国どこでもおこる現象ではないのです。そしてずっと続くともかぎりません。君津市はこの自噴のめぐみを強く受けている地域です。井戸掘り技術「上総掘り」がこの地で生まれたのも、地下水が自噴する土地柄であったことが影響しています。現在でも小糸地区の農作物の生産や久留里地区の観光井戸(平成の名水100選)に代表されるように、^{京湾}多くの産業や生活をこの上総掘り井戸の自噴が支えています。

江戸・明治の昔から、現在そして未来までお世話になる、この井戸と地下水のこと、興味がありませんか？地下の様子・水が噴き出すしくみ・名水の特徴などについて、わかりやすくご講演いただきます。

※上総掘りの道具は昭和35年に、技術は平成18年に国指定重要文化財となっています。



平成22年6月21日(月) 19:00~21:00

会場：君津市上総公民館 講堂(JR久留里駅前)

講師：古野邦雄さん・香川淳さん(千葉県環境研究センター水質地質部)

対象：中学生～成人 ※当日会場で受付(事前申込不要)



日程

18:30～	受付
19:00～	開会
19:05～19:20	解説「上総掘りについて」 久留里城址資料館 学芸員
19:20～20:40	講演「台地を巡る水と自噴井(仮)」 古野邦雄さん・香川淳さん
20:40～20:55	質問
21:00	閉会